

黒川さんの思い出を語る会

主催 語る会実行委員会
突哨山と身近な自然を考える会
大雪と石狩の自然を守る会
突哨山運営協議会

1990年11月、突哨山にゴルフ場建設計画が持ちあがりました。黒川博義さんは東鷹栖の農業がゴルフ場の農薬汚染で脅かされると、北海道知事はじめ7つの関係機関に手紙を書き1人で反対運動を始めました。翌年7月、「突哨山の自然を考える会」が結成され、市民運動として反対運動が始まりました。たくさんの市民、団体の様々な運動が起こり、開発業者は開発計画を撤退、2000年に旭川市と比布町が自然環境保全を目的に共同でゴルフ場用地を買取り、突哨山は市民の共有財産になりました。その後、現在まで突哨山運営協議会を中心に住民参加方式で突哨山の自然の保全と活用が行われてきました。

突哨山の麓で米作りの農業を行いながら運動の中心として活動されていた黒川博義さんは昨年5月21日、突然亡くなりました。

実行員会で黒川さんの思い出を語る会を計画しました。ぜひご参加くださるようお願いいたします。

~~~~~

日時：2023年5月27日（土）13：30～15：00頃

会場：ときわ市民ホール 2階 201、202号室

参加費 無料 申し込みなし、平服で直接おいでください。

~~~~~

プログラム

- ・開会
- ・黙祷
- ・挨拶 実行委員会代表
- ・思い出を語る
運動の始まりから
地元、関係団体から
参加者それぞれの思い出
- ・写真構成 黒川さんを偲んで
- ・黒川家 挨拶
- ・閉会



米作り教室